

平成18年度学校自己評価表

長野県箕輪工業高等学校

学校教育目標

1. 自然や社会についての正しい知識を身につけ、これを基礎に生産・生活に対する専門的な知識や技術の基本を身につける。
2. 未来に目標を持ち、これに向かって希望と信念をもって誠心誠意努力できる生活態度を身につける。
3. 自分たちの問題を自分たちで解決できる自主自律の態度・能力を身につける。

重点目標

基本的な生活習慣の確立と基礎学力の充実を図り、個性を伸ばすことのできる、地域に信頼され、活力にあふれた魅力ある学校づくりをめざす。

評価基準

- A：目標を達成することができた
- B：おおむね目標を達成することができた
- C：目標達成にやや不十分であった
- D：目標達成が不十分であった

今年度の重点目標(全日制)

評価項目	評価	成果と課題
自ら学ぶ意欲を育て、高校生としての学力を身につける。 ・校内研修などを通じて授業の工夫をはかり、より魅力ある授業をおこなう。 ・進路等の具体的な目標を持ち、それに向けて学習習慣を確立する。	B	<成果> ・「学力が向上した」「意欲的に取り組んでいる」と考える生徒・保護者が多く、職員の日常の指導の成果が現れている。 ・難関と思われた進路希望を実現する生徒が目立った。 <課題> ・学習習慣が定着しない生徒、目的意識を持ってない生徒への一層の指導の工夫が必要である。
基本的な生活習慣を身につける。 ・清掃や身の回りの整理整頓等美化活動に取り組み、学習環境を整える。	B	<成果> ・職員の指導や整美委員・生活委員等の生徒の自主的な取り組みにより、清掃状態は良好である。 <課題> ・ゴミの分別や片づけ、身の回りの整理整頓に対して一層の意識の向上をはかる必要がある。

<p>学校と家庭・地域間の連携や理解を深め、それを通じての教育活動の充実をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域・家庭へのいっそうの広報活動をおこなう。 ・ 学校行事や学習活動を通じて地域との交流をはかる。 	<p>A</p>	<p>< 成果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ うえのばやしだよりの紙面の工夫や、PTA・文化祭での地域との協力などにより、連携を深めることができた。 <p>< 課題 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校から生徒を通じての家庭連絡が必ずしも十分には伝わらなかった。今後生徒の一層の理解・協力を得ることが必要である。
--	----------	---

各分掌の自己評価(全日制) No. 1

対象	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策・向上策	
教育活動	教育課程	・現行教育課程表の検討	・生徒の個性を伸ばす科目選択が設定できたか。	A	無理な調整をすることもなく生徒の希望を最大限生かすよう慎重に進めることができた。	3年対象のアンケートをもとに検討する。
	学習指導	・基礎学力を付けさせる指導	・有効な計画、指導により生徒一人一人の力を伸ばすことができたか。	B	(成果)漢字クラスマッチへの取り組みなどで努力の見える生徒が多かった。 (課題)学年によって取り組みがまちまちであった。	各教科で生徒の実態を把握し、計画的に指導をおこなう。
		・各種検定にチャレンジさせる指導	・受検者数、受検内容は満足できるものであったか。	B	(成果)多くの生徒が受験した検定もあった。 (課題)合格がむずかしい。	合格させるための指導に力を入れる。
		・意欲的に授業に取り組ませる指導	・よりよい授業を目指した取り組みが他の係とも連携しながら実施できたか。	B	(成果)授業アンケートをもとに生徒自身の問題としてとらえることができた。 (課題)工夫の交流などができなかった。	教科内での研究。
	生活指導	・退学者の数を減らす。	・退学者の数が減ったか。	B	退学者の増加に悩んでいる。	
		・頭髪指導。	・髪の毛を加工しないという意識がついたか。	B	頭髪指導は担任、学年会、学校全体として取り組んでいただき、意識の向上が見られた。	
		・通学マナーの指導。	・通学マナーの向上が見られたか。	B	生活指導と教育相談係の合同係会を計画していたが、実施できなかった。	

各分掌の自己評価(全日制) No. 2

	対象	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策・向上策
教育活動	整美指導	・清掃や身の回りの整理整頓等、美化活動に取り組ませ、学習環境を整える。	・校舎内の割当てられた清掃分担区を 責任もって清掃できたか。 ・校舎外の清掃はゴミの散乱等がない ように常に心がけることが出来たか。	B	夏にゴミのポイ捨てが目立ったが、寒くなるにつれて少なくなった。 「ゴミの分別」「ゴミはゴミ箱に」を徹底	各自の心掛けによるところが大きいので、今後も地道に声をかけていく。
		・ゴミの分別を徹底し、生徒、職員を意識ゴミの減量化をはかりながら、ゴミ処理費用を少なくする。	・校舎内教室内の整理整頓がきちんとできているか。 ・全校一斉清掃は月一度の短縮授業で 30分の清掃時間にしっかり清掃することができたか ・ゴミステーションの分別収集の徹底 をはかりゴミにかかる費用を少なくしていくことができたか。	B	各教室、トイレは先生方のご指導で聖地整頓されているように思うが、廊下・階段のポイ捨てが目立った。 ゴミの分別を理解していない生徒がまだ多い。	ゴミの総量が昨年と変わらないとのことなので、更にゴミを出さない生活をするよう呼びかけ
	特活指導	・自主的、建設的な活動の為の支援。	・執行部、委員会、クラブ活動において自主的かつ建設的運営の支援ができたか。 ・箕工祭において、生徒の自主的活動を促し、充実したものにできたか。	A	箕工祭においては、生徒一人ひとりの自主的活動を促し、文化祭を成功させることができた。	もっとアイデアを出せば更に文化祭が良くなると思う。
	進路指導	・生徒の希望する進路をかなえられるよう指導を細やかに行う。	・就職希望者・進学希望者の進路がかなえられるよう指導できたか。 ・個々の生徒の興味・関心を伸ばし、進路に結び付けていく指導ができたか。	A	すぐだせ修業体験やガイダンスを通して生徒の意識が高まったと思いま	
		・多様な進路に対応できるよう情報を幅広く収集し、適切に提供する。	・生徒が情報を得やすいよう進路室を 整備できたか。 ・適切な進路計画の設定・実施ができたか。(各種検査、進路希望調査、進路相談、企業見学、説明会、講話、三者協議会への協力)。 ・適切な進路計画の設定・実施ができたか。(各種検査、進路希望調査、進路相談、企業見学、説明会、講話、三者協議会への協力)。	A	模試等積極的に行うことができたと思います。計画も早めに実施することができたと思います。	
	人権平和	・生活の中にある差別・偏見に気づき、いじめを許さない人権感覚を育てる	・他者に対する思いやりの意識や自己尊重の意識が育ったか。	B	担任の先生との協力のもとで一定の成果があった。	日常的、通年の取り組みができた。
	・日常の様々な教育活動を通して平和について考えさせる	・個々の生徒が平和について意識的に考えることができたか。	C	資料を配付したのみで終わってしまった。	計画通りに12月上旬にできるように取り組みたい。	

各分掌の自己評価(全日制) No. 3

対象	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策・向上策	
教育活動	1学年	・高校生にふさわしい生活習慣の確立。	・基本的な生活習慣が身についたか。 ・学校行事、校友会等への積極的な参加ができたか。	B	入学当初に比べて遅刻・早退が減ってきているが、少数ではあるが遅刻者が居る。	担任・教科担任ともに生徒とのコミュニケーションを今まで以上にしていく。また、親との連絡を密にしていく。
		・集中した授業態度の確立。	・授業規律が守れたか。 ・基礎学力が向上したか。	B	一時期に比べると落ち着いてきているが、集中できない生徒が若干いる。	同上
	2学年	・進路に対する学習や姿勢の具体的な関連づけの実現。	・授業規律の確立 ・学力の向上 ・地域や社会に対する積極的な姿勢の育成	B	< 成果 > ・概ね学力向上に努めている。 ・修学旅行の事前学習から、見学地での取るべき態度、聴講や平和セミナーに臨む姿勢を身につけた。 < 課題 > ・一部に授業規律の乱れがある。	・更なる学習に対する意識の啓蒙
	3学年	・進路が確定できたか。	・希望実現に向け授業も含め努力できたか	A	進路未決定の課程で夢を現実のものとするため、みなよく努力した。若干名、動機付けも含め育てきれなかった生徒があり、反省が残る。	
		・校友会活動の充実。	・執行部に限らず3年としてのリーダーシップを持って各自が活動できたか	A	執行部はめざましい活躍ができた。また他の生徒も文化祭成功に向け随所で懸命にがんばる姿をみた。	

各分掌の自己評価(全日制) No. 4

	対象	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策・向上策
学校運営	高大連携	・有効な事業の設定と展開	・連携の主旨に添った事業展開が実現されたか。	A	< 成果 > ・計画どおりの事業展開ができた。 ・指定校の普通科の拡大ができた。 < 課題 > ・地域との一層の連携強化	
	厚生	・職員間の親睦を深める。	・厚生事業が全体のものとして展開されたか。	A		
	教務	・校内の各係等と連携して学力向上のための校内研修につとめる。	・各係等と緊密な連携をしながら効果的な校内研修をおこなうことができたか。	A	コミュニケーション授業や多部制単位制の研修会など多岐にわたる有意義な研修ができた。	研修を実践に高める工夫が必要である。
		・開かれた学校を目指し、公開授業や情報発信につとめる。	・地域の人々に効果的な広報ができたか。 ・地域の方に授業公開に来ていただけたか。 ・充実した授業公開をおこなうことができたか。 ・各係等と緊密な意思疎通をはかることができたか。	A	うへのばやしだよりの発行などを通じて効果的な情報発信ができた。また公開授業でも昨年度を上回る出席者を見ることが	
		・校内職員間の授業公開につとめる。	・授業公開のシステムづくりができたか。	A	研修委員会との協力により、例年以上に授業公開や研究授業をおこなうことができた。	
		・各係・学年・委員会との意思疎通につとめ、円滑に学校の運営をはかる。	・適切な行事運営ができたか。	A	ほぼ予定通りできた。	

各分掌の自己評価(全日制) No. 5

	対象	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策・向上策
学校運営	PTA	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた学校を目指し、保護者・生徒・職員が協力してよりよい学校を作るよう推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> PTA役員、理事、各委員会が一体 となって行事を推進する。 各委員会を充実させ会員相互の意識の高揚を図る。 クラスPTA、学年PTA、地区PTAを開催し、家庭と学校の連携を図る。 	B	<p>予定の行事は、役員、理事、教員の協力を得て無事に実施。参加会員から好意的な評価 × 委員会の機能を十分引き出せず。 学級や地区Pにより、情報交換や交流の場を提供。特に地区Pは8割の会場で5割前後の参加率、一定の浸透。</p> <p>生徒経由の学校からの情報発信が、保護者に届かない。</p>	<p>4月の総会と理事会の活用による理事や教員との意思疎通や委員会の下地作り。</p> <p>理事会準備会の充実。学級Pなど予算等の見直しによる参加率UPの工夫。メール配信の活用の検討。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 三者協議会を学友会と共に計画・立案し、地域の意見も求める。() 	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた学校づくりのため、保護者、生徒・地域の方の意見を反映させる。 	B	<p>役員に学友会の様子を知ってもらい、評価された。教員とは異なる角度のアドバイスも。 × 結果を反映させる流れが不十分で「会の実施」にとどまった。</p>	<p>協議会后に会議を持ち、結果を反映させる。特活係との打ち合わせを充実させる。</p>
	将来計画準備	<ul style="list-style-type: none"> 新しい学校づくりにむけて準備をすすめていく 	<ul style="list-style-type: none"> 各係等と連携を深めることができるよう、校内研修の場を通して話し合いを深める。 	A	<p>研修会・職員会を通して、転換への提案書が作成できた。</p>	<p>高校改革実施計画を見据えながら、各WGと連携を図り、広報活動を重点に置いて学校づくりをすすめる。</p>

学校教育目標	今年度の重点目標	総合評価	
1 自然や社会についての正しい知識を身につけ、これを基礎に生産・生活に対する専門的な知識や技術の基本を身につける。 2 未来に目標を持ち、これに向かって希望と信念をもって誠心誠意努力できる生活態度を身につける。 3 自分たちの問題を自分たちで解決できる自主自律の態度・能力を身につける。	学習への関心を高め、自ら学ぶ意欲を育てる。 ・出席を重視し、粘り強く学習・実習に取り組む。 基本的な生活習慣を身につけ、勤労の尊さを学ぶ。 ・誰にでも気持ちの良いあいさつをする。 ・与えられた仕事には責任を持って最後まで取り組む。 自主的に活動できる力を養い、学校・家庭・地域間の連携を深める。 ・箕工祭等を通して地域との連携を深める	多くの生徒が意欲的に学習するようになり、学校・職場において努力する姿勢を保てるようになってきた。 また箕工祭では、展示発表・太鼓演奏を通じ、地域との交流が深まった。	
		成果と課題	改善策・向上策
		ドリル学習が定着し、意欲的に学習に取り組む生徒が増えてきた。 約6割の生徒が仕事に就き、学校生活と仕事を両立することができた。 箕工祭等の活動に精力的に取り組む、自主自律の精神が身に付きつつある。	・今後も生徒が様々な場面で自主的に活動できるよう支援していきたい。 ・生徒がより良い人間関係を築けるように、職員間の連携を深め、研修を重ねたい。

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	改善策・向上策
教育活動	教育課程	年間授業計画 多部制・単位制3部の 教育課程表の検討	・年間授業計画「学習の手引き」の作成と周知 ・授業における生徒・教員の達成感 ・生徒の自律促進に貢献できたか	・年間授業計画「学習の手引き」の作成と説明会により教科を学ぶ意義、一年間の学習内容等生徒への周知がはかれた ・単位制多部制に向けての教育課程表原案がほぼ固まってきた。	・生徒の学習意欲を如何に引き出し、学力の一層の向上を図るかを、今後ともさらに検討していきたい。 ・単位制多部制の教育課程の実施に向けさらに細部の検討をしていきたい。
	学習指導	基礎学力を身につけさせる指導。 各種検定にチャレンジさせる指導。 授業に意欲的に取り組ませる指導。	・国語・数学・英語ドリルにしっかり取り組ませることができたか。 ・各種検定を受けるに当たり、目標を持ち、意欲的に取り組ませることができたか。 ・授業に意欲的に参加させることができたか。	・ドリルに対して、大部分の生徒に合格を目指して取り組ませることができた。 ・生徒が漢字検定を受けるにあたって、意欲的に取り組ませることができた。 ・まだ授業に意欲的に取り組めない生徒もいる。	・今後も基礎学力向上のために、ドリル学習指導を行っていきたい。 ・今後も各種検定に意欲的に取り組ませたい。 ・今後も生徒が授業に意欲的に取り組めるように、研修を行っていきたい。

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	改善策・向上策
教育活動	生徒指導	学校生活や通学のマナーの指導 時間を守る指導	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活のマナーの向上が見られたか。 通学マナーの向上が見られたか。 無断での欠席・遅刻・早退の数が減ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導は大変だったが欠席、遅刻は減ってきた。 交通事故は2件あったがその後は交通安全指導を行い交通マナーは向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> 欠席、遅刻等の指導は大変だが、生徒が気持ちよく登校出来るよう環境を整えながら根気よく指導をしていきたい 年2回の交通安全指導は必要だと思う
	生徒会指導	生徒自身による、良き学校生活のための生徒会活動の支援と充実	<ul style="list-style-type: none"> 多数の生徒を活動させることができたか。 執行部、委員会・クラブ活動において自主的運営の支援ができたか。 箕工祭において、生徒の自主的活動を促し、充実したものにできたか。 魅力ある学校となるような生徒会活動ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 執行部、各委員会は職員の支援により活発な活動ができた。(話し合い、新聞発行、スポーツ大会) 箕工祭では、執行部を中心に参加、活動できた。太鼓発表は昨年とほぼ同数の参加人数となり、前夜祭を盛り上げることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化系のクラブ活動が活発には行えなかったので、活動内容等の検討が必要だと思う。 種々活動への生徒参加をより良くするため、生徒間での呼びかけのできる体制作りを継続させたい。
	進路指導	卒業学年の希望の進路を叶えられるよう、指導する。 ・全学年に情報をきめ細かく提供し、早期に進路が明確になるよう指導する。	<ul style="list-style-type: none"> 就職希望者、進学希望者の進路が叶えられたか。 進路計画の設定、実施ができたか。(希望調査、進路相談、企業見学、説明会、三者懇談会への出席) 	<ul style="list-style-type: none"> 1名を除いて進路が確定した 年間の「進路実施計画」に基づいてきめ細かな指導ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問や職場訪問を地道に積み重ねる必要がある。
	P T A	PTA行事を通して学校と家庭の連携を密にする。	<ul style="list-style-type: none"> PTA行事を通して、保護者との連携を深めることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ大会においては、生徒が自主的に運営に参加することにより、会を盛り上げることができた。 PTA 総会及び懇談会では、授業参観も含め、生徒の現状について情報交換できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、懇談会やその他のPTA行事を通して、職員と保護者の連携を密にしていきたい。 来年度のスポーツ大会も、生徒が主体的に盛り上げられるように援助したい。